

令和6年9月30日

報道機関 各位

富山大学附属病院が日本海側の医療機関として初めて、  
日本 GI（性別不合）学会の手術に関わる認定施設に  
認められました。

富山大学附属病院（病院長：林 篤志。以下、「本院」という。）は、令和3年10月1日にジェンダーセンターを設置し、性同一性障害（GID；Gender Identity Disorder）の当事者の方が安心かつ安心して希望される乳房切除術、性別適合手術をはじめとする外科治療や相談を受けられる体制を整備し、診療の実績を重ねて参りました。

この度、これまでの取組みの実績が評価され、令和6年9月1日付で、本院は日本 GI（性別不合）学会の手術に関わる認定施設に認められました。認定施設においては、特定の条件下で性別不合に関する手術療法が保険適用となります。本院は、全国で9番目、日本海側の医療機関としては初めての認定施設となりました。

一方、令和6年7月29日（月）から9月26日（木）まで実施しておりました手術室クラウドファンディング「患者さんが安心して手術を受けられる環境整備」につきましては、たくさんの方々からご支援をいただき、当初設定していた第一目標（5,500,000円）、第二目標（8,700,000円）、そして最終目標としていた12,000,000円を大きく上回る、13,590,000円のご寄附をいただきました。温かいご支援について、誠にありがとうございます。

つきましては、上述の施設認定にかかる詳細をご説明するとともに、クラウドファンディングの結果をご報告するため、次のとおり記者会見を行いますので、取材・報道方よろしくお願いたします。

## ■記者会見

- 日時 令和6年10月1日（火）13:45～（30分程度）（開始30分前より受付）  
記者会見、報道機関を対象とした質疑応答
- 場所 富山大学杉谷キャンパス 富山大学附属病院  
管理棟3階 大会議室（富山市杉谷2630）
- 出席者 林 篤志（富山大学附属病院長）  
佐武 利彦（富山大学附属病院 ジェンダーセンター長、  
形成再建外科・美容外科教授、手術部部长）

## ■ 富山大学附属病院ジェンダーセンター

以前は、北陸地方には性別不合（GI; Gender Incongruence）の当事者の方に対する外科的治療を行う施設がありませんでした。そのため、乳房切除術、性別適合手術をはじめとする手術を希望された場合には、国内の遠方施設や、海外に渡航して治療を受ける必要がありました。昨今のコロナ禍で状況がさらに厳しくなり、本院で外科的治療を開始してほしいという要望が多く寄せられるようになりました。その要望に応えるべく、令和3年10月1日、本院はジェンダーセンターを設立いたしました。

ジェンダーセンターは、形成再建外科・美容外科、第二外科、産婦人科、泌尿器科、神経精神科、小児科の6つの診療科の医師、看護師、臨床心理士など、計20数名の多職種からなるチームで構成され、外科手術を考えている当事者の方が安全に安心して手術を受けられるようにトータルサポートを行っています。



富山大学附属病院

ジェンダーセンターロゴ

### 【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学附属病院 病院企画課 日水・酒井

TEL : 076-434-7101・7105 Email : [hosoum@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:hosoum@adm.u-toyama.ac.jp)